

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	広域幹線(市道)整備						継続					
コード	24	-	68	-	03	-	00	予算事業名	広域幹線(市道)整備			
担当部署	建設部	道路街路課	道路建設担当	予算事業コード	会計	10	款	08	項	02	目	03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	広域幹線(市道)整備			
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築	個別計画等の名称	なし			
施策	1	道路交通体系の整備	当事業に関連する事務事業	なし			
細施策	1	都市活動を支える広域幹線道路の整備					
事業実施の根拠となる法令・条例等	道路法・道路構造令・租税特別措置法・収用法・騒音及び振動規制法等						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	圏央道や川越北環状線等の整備によって増加する交通需要に対応するため、広域幹線道路の整備を行い、都市間の連携やバイパス機能等を強化することを目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	事業実施のための説明会を開催し、測量及び設計を業務委託して、計画線について了承を得た後、事業用地面積を確定し、用地課にて用地買収、物件調査を実施。同意を得た後、道路整備工事を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額					5,400	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A					5,400	98,500
人件費 B	0	0	0	0	1,981	1,981
総コスト(C=A+B)	0	0	0	0	7,381	100,481
正規職員(1年間の従事人数)					0.27人	0.27人
臨時職員(1年間の従事人数)					0.00人	0.00人
国県支出金 D					0	17,435
その他特定財源 E					0	0
市の財政負担(=C-D-E)	0	0	0	0	7,381	83,046

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含まれます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値		
活動	測量・線形計画数	件	0	2	1	3	1	26年度	2
	指標の定義・説明	1年間の策定件数							
活動	計画説明会数	回	0	0	3	0	0	26年度	0
	指標の定義・説明	1年間の実施回数							
活動	道路改良工事整備延長	m	395.9	0.0	0.0	0.0	0.0	26年度	120.0
	指標の定義・説明	1年間に行った工事延長(当該年度)							
	指標の定義・説明								
指標に基づく評価	事業の目的が「川越市広域幹線道路網の構築を目指し、市内の骨格道路の整備を促進する。」という大きな目標であり、整備には用地買収を伴うので、成果指標は設定が不可能であるが、活動指標は順次進行している。								

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
本事業は、国、県道の整備に合わせ、広域幹線道路網の充実を図り、計画された道路整備であるため、説明会等で沿線住民(地権者)の事業への理解と協力を求めますが、用地交渉が計画的に進まないこともあり、又、用地買収費(補償費等を含む)に多額の前算が必要であるため、予算規模が事業の進捗に影響を及ぼす。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
具体的な調査実績はない。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
総合計画の中で「道路交通体系の整備」に掲げられており、都市活動を支える広域幹線道路の整備を図り、都市間の連携やバイパス機能及び高速道路へのアクセス等を強化するために、本事業は、重要な役割を担っているため、その計画が大きく後退する。	

# 平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				道路街路課	道路建設担当
事務事業名称		24	68	03	00	広域幹線(市道)整備	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					